

校正技能検定

第 177 回〈中級〉試験案内

校正技能検定について

第 177 回校正技能検定〈中級〉試験応募要項

校正技能検定〈中級〉試験実施内容

校正技能検定委員会

主催=日本エディタースクール

校正技能検定について

■ 校正技能検定とは

校正技能検定は、‘校正者の基礎技能および基礎知識の検定を行うことにより、校正技能を向上させるとともに、校正者の社会的ならびに企業内部における地位を高め、もって出版文化の向上に寄与することを目的’（“編集技能検定〈校正部門〉実施規程”より）として日本エディタースクールが主催するものです。

■ 検定の方法

校正技能検定には、初級（旧・五級）、中級（旧・四級）、上級（旧・三級）の3段階があります。上級と中級については統一試験（〈実技試験〉および〈学科試験〉）によって行います。初級については、各種教育機関において、校正技能検定委員会の認定した単位科目の修得をもって〈実技試験〉および〈学科試験〉に充当します。

■ 受験資格

受験資格は、次の通りです。

・校正技能検定〈中級〉

- 1 校正に関し、日本エディタースクールの所定のコースを修了した者
- 2 校正に関し、各種機関で一定の実技訓練を受けた者、もしくは実務経験のある者
- 3 前各項規程に準ずる者として校正技能検定委員会において認定した者

・校正技能検定〈上級〉

- 1 校正技能検定〈中級〉試験に合格した者

■ 校正技能検定委員会

校正技能検定を行うために、日本エディタースクールに校正技能検定委員会をおき、日本エディタースクールの委嘱による委員若干名をもって構成する。この委員会が技能検定試験の資格審査、当該年度の試験科目の選定、試験問題の作成ならびに採点基準の決定、合格者の決定等を行います。

第 177 回校正技能検定試験応募要項 〈中級〉

＊第 177 回校正技能検定試験は〈中級〉についてのみ実施する

① 試験日時

2026 年 12 月 13 日（日） 午前 10 時 30 分～午後 5 時 5 分（ガイダンス・休憩含む）

② 試験会場

東京会場（150 名前後）：専修大学 神田キャンパス 5 号館（東京都千代田区神田神保町 3-8）

最寄駅—JR 総武線「水道橋駅」、

都営地下鉄・東京メトロ「九段下駅」、「神保町駅」

関西会場（30 名前後）：新大阪丸ビル新館（大阪府大阪市東淀川区東中島 1-18-27）

最寄駅—JR「新大阪駅」、大阪メトロ御堂筋線「新大阪駅」

＊会場についてはお申込み手続きの際に会場地図をお渡しします。

③ 検定方法

実技試験（3 課題）および学科試験（1 課題）、計 4 課題

④ 受験資格

（1） 校正に関し、日本エディタースクールの所定のコースを修了した者

イ）全日制 校正者養成専門コース修了者

ロ）夜間講座 校正コース〔校正基礎、タテ組校正、ヨコ組校正〕修了者

ハ）通信講座 校正コース、校正フレックスコース修了者

ニ）土曜講座 校正教室〔実習教室〕修了者

＊その他のコース修了者で受験資格の有無が不明な場合は事務局へお問い合わせください。

（2） 校正に関し、各種教育機関で一定の実技訓練を受けた者

イ）校正に関する各種教育機関の修了者

ロ）校正実務経験者

（3） 技能検定委員会において前各項規程に準ずるものとして認定した者

⑤ 申請手続

校正技能検定の Web サイト（<https://www.editor.co.jp/exam/>）のメールフォームより申し込み後、別紙申込書に所定事項を記入し、写真、受験料をそえて日本エディタースクール事務局へ申し込むこと。

郵送で申し込む場合は、申込書を締切日必着で送付のうえ、受験料を以下のいずれかの方法で締切日までに納入してください。

（1） 日本エディタースクール窓口にてお支払い（現金のみ）

（2） 銀行振込（次のいずれかの口座）

・ 三井住友銀行飯田橋支店 普通 2893121

・ ゆうちょ銀行〇一九店（ゼロイチキョウ店） 当座 0008265

いずれも口座名 日本エディタースクール（ニホンエディタースクール）

（2）の場合は申込書を以下の送り先に送付し、同時に受験料納入手続きを行ってください。

送り先… 〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-14 日本エディタースクール

写真は 3×4 cm. 申請前 6 カ月以内に撮影した正面脱帽写真, 裏面に撮影年月日及び氏名を記載したものを添えて提出するものとする.

⑥ 申込期間

2026 年 9 月 30 日 (水) – 2026 年 12 月 3 日 (木)

⑦ 受験料

中級……8,800 円 (税込み)

準中級…3,300 円 (税込み)

(注) 第 174 回 (2025 年 12 月実施), 第 176 回 (2026 年 7 月実施) にて, 準中級と認定された方は, 準中級として学科試験のみの受験となります.

⑧ 試験結果通知

受験者に対しては, 試験結果通知を郵送します.

合格者には合格証明書を発行します.

⑨ 持参用具 (当日は貸出をいたしません. あらかじめご承知ください)

(1) 筆記用具 (赤ペン (細書きの水性ペン), 黒鉛筆 (シャープペンシル), 青鉛筆, 消しゴム)

(2) 印刷文字スケール (アメリカンポイント表・級数表)

(3) 『標準 校正必携』(日本エディタースクール出版部刊. 持ち込み可の参考書で, 必須ではありません)

(4) ルーペ (細部の確認に必要な方のみ)

(2) ~ (4) のアメリカンポイント表, 級数表, 『標準 校正必携』, ルーペは実技試験のみ使用できます. 学科試験では使用できません.

(注) テキスト・参考図書・印刷文字見本帳, ノート, 辞書類 (電子辞書を含む), 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末は使用できません. 時刻の確認にも使用できません.

■遅刻について

最初の試験開始より 30 分を経過した場合, 理由の如何にかかわらず欠席扱いとなります.

(当日すべての試験を受けることはできません. また, 受験料は返金いたしません)

30 分以内の遅刻で受験する際にも, 試験時間の延長はありません. あらかじめご承知ください.

■受験料について

原則, 納入された受験料の返金はいたしません.

(ただし, 試験日当日の天候や災害などの事情により試験を中止した場合は, その限りではありません)

■試験の中止について

天候や災害など, やむを得ない事情により試験を中止する場合があります.

中止の際は, 日本エディタースクールのサイトでお知らせします.

(電話でのお問い合わせには対応できませんので, あらかじめご了承ください)

■受験にあたって

試験監督やスタッフの指示に従わないときや, 他の受験者の迷惑となる行為が見受けられた場合は受験をお断りすることがあります.

(その場合, 受験料は返金いたしません)

第 177 回校正技能検定試験実施内容

●検定内容

指示された方針に従って、比較的単純な組版についての初校原稿引合せと通読作業を遂行する能力

●検定方法

実技試験および学科試験

●出題範囲

I 実技試験

1 初校原稿引合せ

- ・書籍本文 縦組 2 題，横組 1 題
ポイント組または級数组
本文（見出し，柱，ノンブル等を含む）
パラルビ
（注，引用文，表組，写真，図版，キャプション）
和欧文混植（数字，欧字，欧文，単位記号）
- ・表記 一部，旧字，旧仮名づかいを使用することがある

2 校正刷，校正作業（時間割）

	頁 数	時 間	校正刷と校正作業
実技Ⅰ	6 頁	90 分	縦組原稿引合せ. 手書き原稿に原稿編集・原稿指定を施し，印刷会社で文字入力 と組版をし，初校校正刷を出力. (原稿編集・原稿指定を含む) 原稿と初校校正刷の引合せ作業.
実技Ⅱ	4 頁	60 分	横組原稿引合せ. PC で入力した原稿のプリント(または手書き原稿)に原稿編集・ 原稿指定を施し，印刷会社で文字入力と組版をし，初校校正刷 を出力. (原稿編集・原稿指定を含む) 原稿と初校校正刷の引合せ作業.
実技Ⅲ	6 頁	60 分	縦組データ入稿の赤字引合せと通読. 電子データとデータを出力したプリントに原稿編集・原稿指定 を施し印刷会社に入稿．印刷会社で電子データの文字情報を原 稿の赤字にそって修正，組版し初校校正刷を出力. (原稿編集・原稿指定の赤字を含む) データのプリントと初校 校正刷の赤字引合せと通読作業.

II 学科試験

下記の範囲から○×式および筆答式で出題（時間 50 分）

1 校正作業に必要な知識

①編集・製作に関する基本知識

本の一般的知識

印刷文字・記号についての知識

比較的単純な組版の原稿指定に関する知識

縦組・横組の基本的な組方原則

等

②校正作業に関する知識

2 用字用語に関する知識

①漢字に関する知識

字種・字体に関する知識

漢字の読み書き

同訓・同音異義語

誤りやすい漢字

送り仮名に関する知識

等

②仮名づかいに関する知識

現代仮名遣いに関する知識

等

3 一般的知識

●時間割（予定）

10：30—10：40 ガイダンス

10：50—12：20 実技Ⅰ試験（縦組原稿引合せ）

（お昼休み）

13：20—14：20 実技Ⅱ試験（横組原稿引合せ）

14：50—15：50 実技Ⅲ試験（縦組データ入稿赤字引合せ・通読）

16：15—17：05 学科試験

- 実技審査基準
- 1 版面その他の組方が指定通りか確認されている。
 - 2 本文は原稿（原稿の赤字）と忠実に照合されている。
 - 3 訂正が正確にわかりやすく記入されている。
 - 4 疑問が正確にわかりやすく記入されている。
 - 5 与えられた時間内に作業が行われている。

- 合否基準
- 1 実技試験（3 題）と学科試験が一定の基準に達した場合に
中級合格とする。（85 点前後以上を審査対象とする）
 - 2 実技試験が一定基準に達し、学科試験のみ一定基準に達し
ない場合は準中級を認定する。
（準中級認定者は一定期間内に学科試験を受験し、基準に
達すれば中級合格となる）

日本エディタースクール

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-14

電話 03-5577-3096 e-mail: school@editor.co.jp

<https://www.editor.co.jp>